



個別訓練とは？

ひとり一人個別に（または、家族単位で）行う津波避難訓練です。自分がふだんいる場所（たとえば、自宅や職場）から最寄りの避難場所まで、所要時間を計りながら実際に逃げてみます。

学校での防災学習と組み合わせる場合は、その様子を子供たちがビデオ撮影し、その結果を分析して、子供たちからのメッセージ（避難の改善点）を訓練参加者にお届けします。さらに、避難の様子を、津波浸水シミュレーションと合成してコンピュータ・グラフィックスで確認することも可能です。



津波避難訓練のねらい

巨大地震・津波による災害が想定されている地域では、津波避難場所や避難路など施設面の整備が少しずつ進みつつあります。

しかし、そうした施設を活かすためにも「適切な場所に迅速に、確実に避難すること」が大切になります。

そのためには、避難に関する問題を個人ごとにつかんで「個別具体的に」対策を講じる必要があります。「個別訓練タイムトライアル」は、そのために開発した方法です。

★準備いただく道具

市販のものを利用すれば実施できます。もっとも簡略に行う場合、地域の地図（津波ハザードマップ）とストップウォッチだけで実施可能です。

GPSロガー（現在位置を自動的に記録する装置）を加えれば、避難の様子をコンピュータ・グラフィックスで確認できます。学校での防災学習と組み合わせる場合は、さらにビデオカメラが必要になります。